

2002年1月24日

報道各位

住友金属鉱山株式会社  
三井金属鉱業株式会社

### 亜鉛事業業務提携および新会社の設立について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 社長：福島孝一 以下住友という）と三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区 社長：宮村眞平 以下三井という）は、この度、亜鉛製錬事業について各50%の出資により新会社を設立し、対等な立場で業務提携を行うことについて基本合意に達しました。

両社は、亜鉛事業に関して、原料・資材調達、生産拠点・保有設備の有効活用、製品販売、物流、技術開発、さらには資源開発にいたる広範囲の提携を企図しております。

今回の提携は、今日の国内亜鉛製錬事業が国際的なマーケットでの競争にさらされており、これに打ち克って行くためには、1社単独でのコスト削減努力には限界があるため、生産拠点の統合を含めた新たな合理化が必要であると判断したことによります。

なお、今後本件を取り進めるにあたっては、公正取引委員会などの関係官庁のご指導を仰いでまいります。

業務提携の概要は以下のとおりです。

#### 1．原料調達関係

##### (1) 原料調達の共同化

新会社は、鉱石および2次原料の調達を一括して実施し、安定調達と調達コストの削減を図ります。

##### (2) 物流合理化

新会社は、原料在庫情報を集約化することによって効率的な配船を実施します。これにより、調達物流コストの低減・在庫量の削減を図ります。

#### 2．生産関係

##### (1) 生産の合理化・生産委託

新会社は、亜鉛製錬の原料である粗酸化亜鉛について三井出資の三池製錬(株)(福岡県大牟田市)および住友の四阪工場(愛媛県越智郡宮窪町)に生産委託を行います。

なお、その生産の一部を三池から四阪にシフトしコストダウンを図ります。

また、新会社は、亜鉛について三井出資分の八戸製錬(株)(青森県八戸市)および住友の播磨事業所(兵庫県加古郡播磨町)に生産委託を行います。生産委託にあたっては調達原料の効率的処理を勘案し総合的なコスト低減を図ります。その他の施策についても鋭意検討を進めます。

##### (2) 操業資材の共同調達

資材在庫情報、特に共通資材に関する情報の共有化と共同購入を実施し、調達コス

トの低減を図ります。

### (3) 操業技術の相互開示・ライセンス・エンジニアリング等

両社は総合的に技術交流を深め、亜鉛事業における競争力の強化に寄与すると共に、新会社にも技術スタッフを配置し、主体的に技術面での貢献を図ります。

### 3. 販売関係

新会社は、委託等により生産された亜鉛を販売します。これにより、ユーザーへの安定供給を継続すると共に販売物流および販売業務の合理化等を目指します。

また、三井出資の神岡鉱業(株)・彦島製錬(株)、および住友出資分の秋田製錬(株)の亜鉛事業については、新会社が原料調達・製品販売を受託し、総合的なコストダウンを図ります。

なお、亜鉛と共に生産される鉛・貴金属等については従来どおり各ユーザーへの安定供給を行います。生産・販売に関する両社・新会社の役割分担については現在検討中であります。

### 4. 業務提携の効果

業務提携による以下の諸項目の実施などにより、年間約15億円の統合効果を期待しております。

酸化鉱比率アップなどの技術改善・操業改善

製鋼煙灰処理の統合などの操業態様変更

共通操業資材の共同購入

交錯輸送の排除などの運搬費削減

販売管理費減

今回の業務提携により、亜鉛事業の国際競争力強化を図ってまいりますが、近隣の中国・韓国をはじめとする輸入品の脅威にさらされている状況に変わりはなく、むしろ今後増大する恐れがあります。両社はこのような厳然たる事実を認識し、今後とも新会社を通じ積極的に亜鉛事業の構造改革に取り組んでまいります。

(本件に関するお問い合わせ先)

住友金属鉱山株式会社 総務部広報室 広報担当課長 高橋 雅史 (TEL: 03-3436-7701)

三井金属鉱業株式会社 広報室長 <sup>かのえ</sup>鹿江 政二 (TEL: 03-5437-8028)

以上

(添付資料)

新会社の概要

(ご参考)

## 新会社の概要

- (1) 会社名;(仮称)株式会社 エム・エス・ジंक
- (2) 出資比率;各50%
- (3) 資本金;未定
- (4) 売上規模;約250億円/年
- (5) 社員数;30名程度
- (6) 基本業務;亜鉛事業の事業責任・損益責任をもつ事業会社
- (7) 日程;会社設立 2002年4月(予定)  
業務の全面移管 10月(予定)